

平成 30 年度

長野県公共事業再評価について

平成 31 年 1 月

長野県公共事業評価監視委員会

# 目 次

1	本年度の審議対象事業の考え方	・・・ 1
2	審議結果（意見書）のとりまとめ方	・・・ 2
3	再評価事業に関する委員会としての意見	
(1)	砂防           (砂) 海岸寺沢 東桐原       【松本市】	・・・ 3
(2)	河川           (一) 奈良井川・田川・女鳥羽川・薄川	・・・ 3
	島内～笹部・渚～村井・深志～岡田・庄内～舟付	
	【松本市・塩尻市】	
(3)	道路改築   (国) 148号   雨中【小谷村】	・・・ 3
(4)	抽出以外の箇所	・・・ 4
4	おわりに	・・・ 4

# 平成 30 年度 長野県公共事業評価監視委員会 意見書

## ～公共事業再評価対象事業に関する意見～

### 1 本年度の審議対象事業の考え方

本年度、長野県公共事業再評価委員会（以下、「県再評価委員会」という）から長野県公共事業評価監視委員会（以下、「本委員会」という）に対し、意見を求められたのは6事業15箇所であった。

本委員会の設置要綱では、審議案件について、県が作成した再評価を実施する事業の一覧及び再評価案の提出を受け、各事業を取り巻く社会状況等を勘案して、本委員会が抽出するとされている。

本委員会では、表-1に示す15箇所すべてについて県案の説明を聞いたうえで、事業の進捗状況、実施上の課題等を勘案し、詳細な審議の対象事業として3箇所を抽出した。

表－1 平成30年度 公共事業再評価対象箇所及び抽出箇所一覧

担当 部局	分野	再評価理由	事業名	路河川名等	箇所名 (市町村名)	採択 年度	現行計画				再評価案		抽出 箇所
							今回 再評価	総事業費(百 万円)	H30末 事業 進捗率 (%)	H31以降 残事業費	県方針 (案)	今後の コスト 縮減額	
建設部	砂防	その他	防災・安全交付金 (砂防)	(砂)海岸寺沢	東桐原 (松本市)	2010 (H22)	2022(H34)	810	47.7%	457	継続	-	○
建設部	砂防	10年経過	防災・安全交付金 (砂防)	(砂)布引沢	上手 (大町市)	2009 (H21)	2023(H35)	350	12.0%	308	継続	-	
建設部	砂防	その他	防災・安全交付金 (砂防)	(砂)横湯川	落合 (山ノ内町)	2011 (H23)	2022(H34)	986	46.0%	500	見直して 継続	-	
建設部	河川	再々評価	防災・安全交付金 (河川)	(一)天竜川上流	天竜川上流 (岡谷市・辰野町)	1962 (S37)	2037(H49)	16,167	53.5%	7,511	一時休止	-	
建設部	河川	再々評価	防災・安全交付金 (河川)	(一)奈良井川 (一)田川 (一)女鳥羽川 (一)薄川	島内～笹部 渚～村井 深志～岡田 庄内～舟付	1941 (S16)	2027(H39)	49,775	80.5%	9,690	継続	-	○
建設部	河川	再々評価	社会資本整備総合交 付金(河川) 総合交付金	(一)諏訪湖	諏訪市 岡谷市 下諏訪町	1969 (S44)	2027(H39)	16,200	92.8%	1,076	見直して 継続	-	
建設部	ダム	再々評価	河川総合開発	(一)夜間瀬川	角間ダム (中野市・山ノ内町)	1985 (S60)	-	25,000	5.6%	23,600	一時休止	-	
建設部	道路	その他	社会資本整備 総合交付金・ 防災・安全交付金(道 路)	(国)148号	雨中 (小谷村)	2011 (H23)	2022(H34)	9,500	43.3%	5,389	見直して 継続	-	○
建設部	街路	再々評価	防災・安全交付金 (街路)	(都)内環状南線	中条 (松本市)	1999 (H11)	2021(H33)	8,000	89.7%	824	継続	-	
農政部	農業 基盤 整備	10年経過	経営体育成 基盤整備事業	-	烏川 (安曇野市)	2009 (H21)	2019(H31)	3,195	92.0%	255	継続	-	
林務部	林道	再々評価	地方創生道整備 推進交付金	-	田口十石峠線 (佐久市・佐久穂町)	1991 (H3)	2020(H32)	3,173	97.3%	85	見直して 継続	-	
林務部	林道	再々評価	農山漁村地域整備交 付金	-	長谷高遠線 (伊那市)	1980 (S55)	2023(H35)	6,030	91.8%	552	見直して 継続	-	
林務部	林道	再々評価	地方創生道整備 推進交付金	-	千遠線 (飯田市・泰阜村)	1962 (S37)	2020(H32)	5,730	95.3%	269	見直して 継続	-	
林務部	林道	再々評価	地方創生道整備 推進交付金	-	弓の又線 (阿智村)	1989 (H元)	2019(H31)	5,170	96.6%	177	継続	-	
林務部	林道	再々評価	農山漁村地域整備交 付金	-	高森山線 (大鹿村)	1983 (S58)	2022(H34)	3,320	86.5%	447	見直して 継続	-	
合 計								153,406		51,140			3

注) 網掛け：抽出箇所

事業の進捗状況、事業を巡る社会経済情勢等の変化等の観点から、「継続」「見直して継続」「計画変更」「一時休止」「中止」の5段階で評価

## 2 審議結果(意見書)のとりまとめ方

意見書のとりまとめにあたっては、県案に対する審議結果と評価の判断理由に加え、審議中にあったその他の意見を事業ごとに記載する。

### 3 再評価事業に関する委員会としての意見

#### (1)砂防 (砂)海岸寺沢 東桐原【松本市】

■県案に対する審議結果：「継続」とすることを妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 当箇所は、土砂災害特別警戒区域内に公民館や民家、民間観光施設が存在しており、人命を守り安全・安心の確保のためにも整備が必要と判断できること。
- 当該事業の平成 30 年度末における用地進捗率は 100%であり、住民の理解が進んでいること。

《審議上の意見》

- 森林税の活用を視野に入れた土地所有者・地元による周辺の森林の維持管理を検討されたい。

#### (2)河川 (一)奈良井川・田川・女鳥羽川・薄川

#### 島内～笹部・渚～村井・深志～岡田・庄内～舟付【松本市・塩尻市】

■県案に対する審議結果：「継続」とすることを妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 残区間は流下能力が不足しており、また、沿川の都市化も著しい。近年の全国的な豪雨災害の発生状況も踏まえ、長野県第二の都市である松本市街地の浸水被害を防止する観点から引き続き整備が必要と判断されること。

《審議上の意見》

- 護岸工の構造については、河川環境の保全はもとより、地域住民の高齢化等を考慮した維持管理体制を視野に入れ、最適なものとされたい。

#### (3)道路改築 (国)148号 雨中【小谷村】

■県案に対する審議結果：「見直して継続」とすることを妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 当該道路は、大町市と糸魚川市を結ぶ幹線道路であり、小谷村中心部を通る生活道路でもあるが、大型車交通量が多く、騒音・振動や交通事故の危険にさらされており、安全で円滑な交通の確保と生活環境の改善を図る観点から必要と判断されること。

- 北陸地域や関東地域へのアクセス性向上により地域の産業振興に寄与すること。
- 沿線には、年間 202 万人の観光客が訪れる白馬山麓が存在し、道路の安全性・走行性の向上により観光客増加が見込まれること。

#### 《審議上の意見》

- 大きな設計変更が生じているため、同様の案件において当初計画の策定段階で、地元と十分な調整をされたい。

### **(4) 抽出以外の箇所**

再評価の対象事業 15 箇所のうち、詳細な審議の対象としなかった 12 箇所については、事業の必要性、事業の進捗状況等から、県の再評価案について妥当と判断した。

## **4 おわりに**

本年度の長野県公共事業再評価事業として、県から意見を求められた 15 箇所については、4 回の委員会と 2 回の現地調査を実施し、事業の必要性や事業の進捗状況から、県案を妥当なものと判断した。

事業の実施にあたっては、引き続きコストの縮減を図りつつも、本来の事業目的を損なうことなく、整備効果が早期に発現されることを求めるものである。

最後に審議中にあった再評価全体に対する意見を付す。

- 本委員会が提案し、今年度構築した事後評価等を新規評価に反映させる仕組みを、再評価にも適用されたい。

以 上